

自己評価および外部評価結果

自己 外部	項目	自己評価	外部評価		
		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容	
I.理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	ケアネット徳洲会の理念を毎日朝礼時に唱和しています。ご利用者様お一人お一人のお気持ちに寄り添えるように意識付けを行っています。	毎年のホームの年度目標や個人目標をスタッフと検討し取り組んでいます。理念や目標をリビングや事務室に掲示にしており、毎朝全員で法人理念を唱和し、理念を実践できるよう心がけています。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の行事参加、近くの散歩や買い物、また同地域の保育園や小学校の子どもたちとの交流を行っています。	学童保育の児童にホームのクリスマス会に来てもらったり、保育園の運動会に見学に出かけたりもしています。また、地域の防災訓練への参加や地域の福祉祭りにもご利用者と一緒に参加するなど、地域との交流を深めています。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地区の防災訓練への参加や、運営推進会議等で認知症の方をご理解していただいている。また地区防災会より災害時に使用するリヤカー施設設置・組み立て支援等協力いただいている。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実践、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	市、地区、ご家族代表、連携する病院看護師、構成メンバー様を中心に2ヵ月に1回開催しています。現状報告や評価をおこない、ご意見やご助言をいただき活かしています。	運営推進会議は2ヶ月に1度開催し、市の担当者、支所の職員、民生委員、提携病院の看護師、ご家族代表に参加していただき、事業所からの報告に加え、参加者からの意見や助言が寄せられています。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営推進会議での相談・報告を始め、電話や来所・来庁により、リアルタイムでの相談・助言指導に協力いただいています。	市が主催する市内のグループホームの管理者会議でも情報交換を行っているほか、市の担当者には運営推進会議にも参加していただいております。良好な関係を築き、電話や担当者が事業所へ来所するなどの中で、運営に関するあらゆる相談が行われています。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介護指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束については常に職員の心得があり、日常的にベッドや車椅子の位置などに気を配る等配慮しています。	身体拘束は行わない方針のもと、玄関の施錠も夜間のみとなっています。事業所内での研修などで職員へも周知徹底を行い、職員全員が身体拘束をしないケアを当然として業務にあたっています。	調査時点では、今年度予定されていた身体拘束に関する研修が実施されておりましたので、定期的に研修の機会を設け、職員へ周知されることを期待します。

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
7	(5-2)	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	研修やスタッフ会議等で正しく学び、ケア実践につなげています。	言葉遣い等で気になる点があれば随時指導しているほか、虐待防止に関する講習会へ参加した職員からの伝達研修や協力病院で勉強会が行われており、虐待防止の徹底に努めています。	調査時点では、今年度予定されていた虐待防止に関する研修が実施されておりませんでしたので、定期的に研修の機会を設け、職員へ周知されることを期待します。
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	関連の司法書士様より、制度の理解・活用等について学ぶ機会を設け、スキルアップにつなげています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	ご利用者・ご家族様に向けて時間をかけて説明しご理解いただけるように努めています。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	『ご意見箱』を設置しています。来訪時の面談や電話の際の聞き取り、家族会、アンケート実施にて結果を通知し運営に反映させています。	来訪時の面談や電話連絡による聞き取りに加え、年に1度の家族会が行われ幅広く意見や苦情を聞く機会が設けられています。また、年に1度法人にてご利用者・ご家族にもアンケートを実施し、サービスに反映できるよう取り組んでいます。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	随時のカンファレンス、スタッフ会議、申し送りノート等において意見・提案を検討しています。職員との面談や会話を通じ意見・提案を聞く機会を設けています。	随時のカンファレンス及び月1回のスタッフ会議が開催され、職員が日頃気づいた点等を検討する機会を設けています。定期的に職員との個人面談も実施しており、職員の意見を吸い上げられるようにしています。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員評価スキルシートの提出を行っています。また資格取得やスキルアップ、実績等を踏まえ給与、職場環境改善に努めています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員のスキルアップやケアの充実を図り、職員の希望を取り入れ研修の機会を確保しています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	村上市内グループホーム意見交換会・交流会に職員が参加しています。連携の病院研修にも参加させていただきサービスの質向上につなげています。		
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前、ご本人との面談や会話を通じ、ご意向や困っている・不安なこと等を伺います。ケアプランの位置付けでご本人の意思を尊重しながら周囲とのよりよい関係性を図っています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居前、ご家族との面談や会話を通じ、ご意向や困っている・不安なこと等を伺います。密な連絡をさせていただき、ケアプランの位置付けでご本人・ご家族の意思を尊重しながら周囲とのよりよい関係性を図っています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	広く情報を収集し、関連業者や他事業所等からの協力を仰ぎながら他サービス利用の検討・導入を考案しています。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	人生の大先輩として敬意を表し、貴重な意見を教授していただきながら、“学ばせていただく”姿勢を重んじています。暮らしの中で自然と役割りを担っていただき、よりよい相互関係を築けるよう努めています。		
19	(7-2)	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	生活歴を改めて伺ったり、こちらからも現状報告をしていき一緒にご本人を支え合う関係を構築していきます。	事業所からもご利用者の生活の様子をまとめたお手紙をお送りしているほか、広報誌も4ヶ月に1度お送りし、ホームでの活動の情報を共有するようにしています。また、ご家族の状況を把握した上で、病院での受診、必要な物の差し入れ、外出や外泊など、ご家族にお願いできるところは役割分担をし、事業所と共にご利用者を支えていく関係が作られています。	

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	生まれ育った場所や、暮らしていた場所、親友、馴染みの場所(人)を思い出し、ご家族の協力も得ながら外出支援しています。	知人や親族にも面会に来て頂いたり、日常の会話のなかでご利用者の希望を確認しご家族の協力も得ながら、お墓参りに出かけたり、ご自宅への外出支援、年賀状のやりとりなどを行い馴染みの関係が継続できるように支援しています。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	集団生活という中で、皆様が不快感なく良い雰囲気となるように、レクリエーション等、職員全員で行っています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退居後もご家族様が来所されています。随時のご連絡等にて関係性を大切にしています。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	居室担当を設け、細やかな意向の把握に努めています。	ご利用者との日々のコミュニケーションから得た情報を支援経過に記載し、確認した意向についてはカンファレンスにて共有し、支援しています。	
24	(9-2)	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	アセスメント、担当者による評価、ケアプランのサービス評価・支援経過・見直しを行っています。	入居時にはご家族にもご協力を頂き、ご利用者の生活歴に関する情報提供をしてもらっています。また、6ヶ月に1度及びご利用者の状態変化時にはアセスメントの見直しを行い、情報を更新し、蓄積されています。	
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	アセスメント、カンファレンス、日々の状態把握等行いながら把握に努めています。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご本人・ご家族の意向や課題等を確認し、また会話や関わりの中での気づき、必要な関係者と話し合いそれぞれの意見を反映できるよう努めています。	サービス担当者会議にてご利用者、ご家族の要望を汲み入れ、職員の協議の上、介護計画が作成されています。計画作成担当者によるモニタリングをもとに6ヶ月に1度、介護計画の定期的な見直しが行われています。	調査時点で、介護計画書やモニタリングシートに日付の誤りがあったり、モニタリングや介護計画書の作成が遅れている方もいましたので、今後改善されることを期待します。

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子や関わりの中での気づきを記録し、申し送りノートやカンファレンスで情報を共有し、見直し、又介護計画に反映しています		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	常に状況把握している担当者の意見を取り入れながら、ご本人の真のニーズを見出し対応できるように努めています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	ボランティア来所や同地域行事の参加、図書館通い、畑の軽度な農作業から収穫等その方に合わせて支援させていただいています。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医や希望される医療機関にて、ご本人・ご家族の希望に沿って、受診していただいています。	往診にも月に1度来て頂いているほか、以前からのかかりつけ医を希望される方と協力病院を希望される方など、希望に応じた対応が行われています。受診の際は状況の報告を書面や電話連絡にて医師に行うことで、情報交換が行われています。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	介護記録やバイタルチェック表、カンファレンス等にて情報を共有し、随時看護師に相談できるように努めています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	連携病院の相談員、看護師、医師との協力が図れ相談や受診ができるように努めています。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居時に事業所の看取りに対する考え方について説明している。ご家族の納得が得られるように話をして施設でできることとご家族の望まれることを随時相談、確認しています。	契約時にはご家族に事業所の重度化した場合における考え方を説明し、ご理解を得ています。また、ご利用者の状態を見ながら必要に応じて、ご家族とも話し合いの機会を設け、適切な支援ができるよう取り組んでいます。	

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
34	(12-2)	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	看護師に応急手当や初期対応について随時相談し学んでいます。またBLSやAEDの使用、異物除去法等について消防署員による研修を実施し対応できるようにしています。	看護師にも来て頂き応急手当についても指導をいただいているほか、消防署の方にも来て頂き事業所にて心肺蘇生やAEDの使用方法の研修が行われ、適切な初期対応ができるようにしています。	
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	火災や地震、災害時等の避難訓練を定期的に行っています。また、地域の防災訓練にも参加し協力体制を築いています。	日中及び夜間の火災を想定した避難訓練を定期的実施しており、地域の避難訓練にも参加するなど、地域との協力体制の構築にも努めています。	
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	毎年必ず全職員が研修で学び、個人情報保護についての認識を高めています。	個人情報保護の方針と利用目的が事業所に掲示されており、規定に基づいた取り扱いが行われています。また、広報への写真の掲載やホームでの写真の掲示についてもご利用者に対して契約時に同意書を頂いています。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日々の関わりの中から聞き取りや、表情・しぐさ等から思いを汲み取りながら大切な自己決定ができるように傾聴等支援しています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	その方の生活動作リズム、意向に合わせた支援をおこなっています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	ご自分の好みや気分に合わせて服を選び、訪問によるヘアカットや馴染みの床屋でのカット等、その方らしくいられる支援を行っています。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	地域で採れた野菜食材の皮むきや下ごしらえ等できることを行っています。また、郷土食や日々の食事を食べやすいように工夫し楽しい食卓に努めています。	ご利用者の状態や気分に応じて食事の準備や後片付けも手伝ってもらっています。また、ホームの畑でトマトやじゃがいもなどの収穫をご利用者と一緒に行うなど、ご利用者に食事を楽しんでもらえるよう取り組んでいます。	

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	嗜好調査を行い、栄養バランスのとれた食事を提供しています。食事・水分量の把握をしています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食後に義歯の清掃を自力でお願いし、介助の必要な方は職員と一緒に等配慮しています。		
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄パターンを把握し、失敗を防ぐために早めの誘導声掛けや確認等に配慮しています。	排泄チェックし、排泄パターンを把握することで、オムツや紙パンツの使用を軽減し、トイレでの排泄が行えるよう支援されています。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	傾向と対策を図り、飲食物の工夫や適度の運動、マッサージなどで予防に努めています。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	入浴日を大まかに設定し、気分や体調等に合わせてアレンジし対応しています。節句時の菖蒲湯、冬至の柚子湯、などを実施して季節感をだす工夫も行っています。	基本的な日程の設定はありますが、ご利用者の意向を尊重し、対応されています。入浴を嫌がるご利用者もありますが、職員間でうまく声掛けのタイミングを共有し、入浴して頂いています。また、季節に合わせて菖蒲湯や柚子湯を行い、入浴を楽しめる支援が行われています。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	安眠・休息のリズムに合わせて、眠れない時は温かい飲み物の提供や傾聴等対応しています。また居室での休息は空調を整えながら安心して休まれるような空間作りをしています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬情報書類を個人別にし、職員が随時情報を得やすいようにファイリングしています。		

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	お一人おひとり趣味や特技を活かしたいいろいろな手作業を行っていただいています。午後のコーヒープレイクをととても楽しみにされている方が多く楽しみや気分転換等に今後力を入れていきます。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	冬場の外出機会が多少少ないですが、買い物に同行していただいたり、ご家族と一緒に自宅に行ったり等習慣となるように努めています。	日常的に散歩や買い物などの外出が行われています。また、季節に合わせてお花見や紅葉狩りなど、行事としての外出の支援も行われています。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	事前に意向の確認をさせていただき、常にご自身でいくらか所持されている方や、買い物時にはご自分で支払いができる方の支援をしています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご家族や友人などと電話がスムーズにできるように支援しています。また年賀状のやりとりもできるように支援しています。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	施設内や居室の落ち着いた照明色の工夫や、掲示物の工夫などで居心地よく過ごせるように支援しています。	白と木目を基調とした室内は清潔感があり、ホールや廊下などに季節を感じさせる雛人形の飾りやご利用者の作品が適度に飾られていることで、季節感や温かみを感じる空間になっています。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	天気の良い日はテラスのベンチで気の合う方々で会話を楽しんだり、居室を往来するなどご入居者同士の居場所作りに努めています。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	長年使用してきた家具や生活用品等を持参いただき自宅と同じ雰囲気ですらしていただくよう働きかけしています。	ご自宅で使用されていた時計やご家族の写真など、ご利用者が使い慣れた物を持込んでもらうよう働きかけ、居心地良く個性のある居室になるよう配慮されています。	

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	手すりの設置やトイレ・洗面所等の場所がわかりやすいように工夫しています。また居室入口に似顔絵や目印を付けるなど工夫しています		

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓ 該当するものに○印		項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓ 該当する項目に○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と
			2. 利用者の2/3くらいの				2. 家族の2/3くらいと
			3. 利用者の1/3くらいの				3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんど掴んでいない				4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)		1. ほぼ毎日のように
			2. 数日に1回程度ある			○	2. 数日に1回程度
			3. たまにある				3. たまに
			4. ほとんどない				4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)		1. 大いに増えている
			2. 利用者の2/3くらいが			○	2. 少しずつ増えている
			3. 利用者の1/3くらいが				3. あまり増えていない
			4. ほとんどいない				4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が	66	職員は、活き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 職員の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない				4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない				4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 家族等の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない				4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が				
			2. 利用者の2/3くらいが				
			3. 利用者の1/3くらいが				
			4. ほとんどいない				